

学校と地域の融合教育研究会

会 報 NO.18

ゆるらう



マーク制作:関知啓子(秋津コミュニティ:蚊帳の海一座)

2002.5.20

融合研のホームページは、<http://www17u-page.so-net.ne.jp/qc5/you-go/>

事務局:〒273-0122千葉県鎌ヶ谷市東初富3-23-6 TEL/FAX 047-445-3669

本号の内容

1 福岡フォーラムの準備状況・申し込み受付ほか

2 広がる会員の活動;各地で主体的にフォーラム開催がさかん、会員も大活躍

島根県「綺羅星21」

松山市PTA研修会

千葉県ボランティア集会

(融合研・君津市LIT・市川市ナーチャリングコミュニティ・市原市ピオトープ)

新聞・雑誌の掲載記事

3 連絡いろいろ

ホームページに、各地のミニフォーラムの案内が載っています

メールでのやりとりから

テレビ出演 および本やビデオによる活動の紹介

2001年度会計報告

福岡フォーラムの準備状況・受付始まる

融合研創立5周年記念&初めて西日本で開催のフォーラムが、以下のように開催されます。今回は、休暇がとりやすい時期に開催されることもあり、これまで都合がつかなかった「その道の第一人者」にも、たくさん参加をいただきます。また、子どもたちの活動を全体で見学する場もあります。どうぞ、多くの会員の参加をお待ちしています。会場と宿舎は、収容人員が450人と大きな所ですので、会員以外にも奮ってご参加できるよう呼びかけてください。

・名称:融合フォーラム2002 in福岡

・全体テーマ案 さあ本番!学社融合の教育創造! 子どもがつなく学社融合

・主催:学校と地域の融合教育研究会

・開催日:8月10日(土)13:00~11日(日)15:00

・開催会場:福岡県立社会教育総合センター (参加の申し込みは、事務局へ)

〒811-2402福岡県粕屋郡篠栗町大字金出3350-2

電話092-947-3511/FAX092-947-8029

・参加費 会員¥1000/会員外¥2000/学生はどちらも半額

1日でも2日通して参加も同額。当日受付時に入会の場合は会員扱い。

・懇親会費 ¥3,000

・宿泊費ほか¥2,000程度

宿泊は450人可能です。ただし相部屋2~4人です。申し込みは、1ヶ月前までに済ませなければなりませんのでお急ぎください。

参加の申込書は、別紙に記入しファックスで、または、ホームページから事務局へ。

1日目 8月10日(土曜日)

<全体会> 開催会場：福岡県立社会教育総合センター

・12:00 受付 *12:00~

・13:00 開催行事 主催者挨拶・分科会関係者・屋台フォーラム発表者・ファシリテーター等の紹介+連絡事項

・13:30 提言

1. 高齢者は社会の資源だ! 庄子平弥融合研副会長(仙台シニアネット)

2. 佐賀県「学社融合」のこれまでとこれから 村岡智彦会員(佐賀市立嘉瀬小学校長)

3. インターネットで出会いをあそぼう! IT時代の子どもたちとともに

* 斎藤正一融合研事務局次長・NPO法人LIT理事長(千葉)他+子どもたち

・15:00 移動

・15:15 分科会;(事例発表者は、一部確定しています)

A. 学社融合っておもしろい!

コーディネーター: 桑原広治会員(熊本県五木北小学校教頭)

<事例発表> 中政勝・仙波英徳・山下道子会員(愛媛県松山市P連役員)

村上 弘氏(前北九州市立上津公民館・市民福祉センター館長)

「尋常小学校の学社融合」

B. 地域・行政とともに歩む学校・コミュニティづくり

コーディネーター: 重松孝士氏(福岡県立社会教育総合センター所長・前福岡県生涯学習課長)

<事例発表> 西川敏之会員(山口県大島郡教育事務協議会)

大畑伸幸会員(島根益田市教育委員会)+渋谷秀文会員(島根津和野町教育委員会)

C. 環境学習とピオトープづくり

コーディネーター: 田中敏久会員(西東京市立柳沢小学校教員・全国学校ピオトープネットワーク理事)

<事例発表> 今野英山氏(株竹中工務店技術研究所・先端研究開発部エコ・エンジニアリング

グループリーダー)

漁師政子氏(高知子どもの遊びを考える会・代表)

榎 重善会員(千葉県習志野市秋津コミュニティ運営委員・横浜市役所)

D. 総合型地域スポーツクラブとコミュニティづくり

コーディネーター: 森川貞夫会員(日本体育大学教授・体育社会学研究室)

<事例発表> 田上洋介会員(長野県木曾上松教育委員会次長)

中平稔人氏（福岡県教育庁教育振興部スポーツ健康課生涯スポーツ班・社会教育主事）

- ・ 17:30 休憩+移動
- ・ 18:00 屋台フォーラム *サンドイッチ程度の軽食
屋台をのぞき、気に入った屋台に腰掛けてメニューを聞きながら店主と楽しく交流する方法です。
- ・ 20:00 懇親会+セリ市+次回開催地候補宣言

2日目 8月11日（日曜日）

- ・ 9:00 ファシリテーターによる1日目の全分科会の報告
コーディネーター：渡邊正親会員（前新潟県立生涯学習推進センター所長・新潟県越前市立大養小学校長）
- ・ 9:30 提言
4. 学校の安全と地域のノーマライゼーション 種田祝次会員（千葉・秋津コミュニティ運営委員）
5. 完全学校週5日制とコミュニティづくり 岸裕司融合研副会長（千葉・秋津コミュニティ顧問）
- ・ 10:00 講演：寺脇研さん（文部科学省審議官・生涯学習担当）
- ・ 11:30 パネルディスカッション
テーマ：学校と地域の融合～それぞれのアプローチから
パネラー 寺脇研氏
油谷雅次会員（大阪府教育委員・貝塚市北小学校ふれあいルーム運営委員会）
江口勝善会員（千葉県鎌ヶ谷市小学校長・水俣市出身）
松浦義和会員（前広島県尾三教育事務所生涯学習課長・広島戸宇小学校長）
コーディネーター：宮崎稔融合研会長（習志野市立大久保東小学校長）
- ・ 13:00 昼食 *融合研会員は昼食を取りながら総会
- ・ 14:00 ふれあいタイム 自由にグループになり集い語らう場。話したりない聞きたりない方の出会いの場。
- ・ 15:30 終了解散

尚、福岡フォーラム専用設けた「福岡ML」にも登録いただきたくお願いします。

福岡ML登録【yugo-fukuoka】 <http://www.egroups.co.jp/group/yugo-fukuoka>

福岡MLアドレス（投稿のみの場合） yugo-fukuoka@egroups.co.jp

学校と地域の融合教育研究会のホームページ <http://www17.u-page.so-net.ne.jp/qc5/you-go/>

会員の活動状況より

島根県「綺羅星21」

2月8日（金）島根県益田市「学社融合フォーラム綺羅星7」1000人参加で大盛況！

2002/9 you-go メーリングリストへの投稿 島根県匹見町教育委員会地域教育コーディネーター（派遣社会教育主事・融合研№249）大畑伸幸（主催者の一人）さんより

ありがとうございました！ 島根発、綺羅星7（益田市、美都町、匹見町、日原町、柿木村、津和野町、六日市町の7つの市町村主催）発の「学社融合」を1000名の参加者のもと、広く情報発信することができました。参加者のみなさん、ありがとうございました。9時より4時過ぎまでタイトなスケジュールでしたが、最後まで多くの方にご

参加いただけました。講師の三浦清一郎先生の朝の基調提案、そして最後の講演と切れのよいお話をありがとうございました。最後の講演では、ワイヤレスマイクを片手に、演台前で動きながらの熱き講演でした。パネルディスカッションでは、笑いあり、見事なコーディネーターぶりを発揮いただいた今村隆信さん。ありがとうございました。子どもが評価する中学校として有名な須恵中学校校長の佐々木基成さんとのやりとりは、会場を大いに沸かせました。そして、愛媛県双海町の地域づくりの「日本一夕焼けの美しいまち」として双海町を有名にしたカリスマ・若松進一さん。笑いあり、感動ありのお話に、またまた若松ファンが増えました。そして、島根県代表の三成小学校校長浜田満明さん。そうそうたるメンバーの中、島根の学社融合を熱く語っていただきました。このメンバーに我々が融合研の岸裕司さんが加わりました。(この時期お忙しい岸さんには、大交流会、2次会、3次会、4次会と最後までおつきあいいただきまして、みんなが感激でした！)本当に贅沢なパネルでした。時間が足りない！もったいない！の声が数多く聞かれました。すみませんでした。しかしながら、内容は最高でした。学社融合が地域づくりに直結するものであると実感しました。

午前中の12本の実践発表は、綺羅星7の今の姿をそのまま見ていただきました。特に、第1分科会の発表は、今村さん、佐々木さんにも絶賛いただきうれし限りです。そして、なんといってもスタッフのして事前準備、当日の裏方、片づけと最後まで汗をかいて下さった綺羅星7の社会教育担当者のみなさん、本当にありがとうございました。綺羅星7の宝は、やはり、「人」でした。今回のこの1年をかけた取り組みで、ご縁による人のつながりのすばらしさと夢を持つことの大切さを痛感しています。夢は口に出すことで意識化され、仲間と手を結ぶことで実現に向けて動き出すのではないかと思っています。

このフォーラムをさらに発展させ、綺羅星7発の教育を創造したいと思っています。

最後にこのフォーラムプログラムに載せた言葉で締めくらせていただきます。

- 学社融合は「目的」ではなく「手段」であること。
- 子どもは大切な「人材」であり、人と人をつなげる「接着剤」であること。
- 実践の「評価」は広く求めるほど、人は元気になること。

本当にありがとうございました。

出雲の澤田です。(澤田千鶴子さん・融合研№191) 2022/9 you-go メーリングリストへの投稿より

『学社融合フォーラム in 綺羅星7』に参加しました。このMLで情報を発信してくださった大畑さん、本当にありがとうございました。風邪から体調がくずれ、参加も迷うほどでしたが行って良かったー!! 分科会も移動しながら、色々な実践を聞かせていただくことができ、励みにもなりました。その後のパネルディスカッションは「こんな豪華なメンバーを誰が呼んだの?」というほどの笑いあり、笑いありの内容でした。(*^^*) 4人の方がそれぞれ違う立場からの発言、提案をなさっていてとても判りやすく内容も充実していましたが、時間が無いのが惜しかったです。岸副会長も、話し足りないとおっしゃっていましたが、わたしももっとも聞きたかったです。

余談ですが、朝食抜きで(特急おき)に乗ったせいか、お昼には薬局に駆けこむ始末で、大畑さんにも岸副会長にもごあいさつができなかったことが心のこりです。(泣) 岸さんの本もすでに持っていますが、サイン入りだったのでしっかりget(笑) 若松さんのお話も、あまりにもおもしろかったので本を買って帰りました。「わたしもろろ・飲もうの会にでたかったー。」(T_T) 今後も何か企画があれば、また発信して下さることをすごく期待しています。感謝と感激と、ちょっぴりの心のこりをお伝えしたくメールしました。

綺羅星7にパネラーで参加した岸裕司融合研副会長より、恐い話のダイジェスト報告

子どもが教員を評価する実践報告をされた須恵中学校校長の佐々木基成さんは、とてもユニークでした。

- ・ 生徒に教員の□授業内容が判りやすいか□人間として尊敬できるかを評価してもらった

- ・すると、年収400万円の教師の方が年収800万円の教員よりも高い評価を受けた(恐~い！)
- ・来年は校区のみなさんに授業参観においでいただき、その際には教員全員に「私は年収〇万円です」の名札を付けてもらおうかな？ と言っていました(笑)。私は恐くて思わずノケゾッてしまいました。チャンチャンと！

愛媛県松山市PTA研修会

平成14年2月23日(土)愛媛県松山市青少年センターで「学社融合ミニフォーラム ~学校と地域のからやかな融合を目指して~」が開催されました。宮崎稔会長の講演に続いて、パネルディスカッションは、「学校から」の立場で融合研監査の仙台市の野澤令照さんが、「行政から」の立場で富士宮市の渡辺喜久会員が、「地域から」は大阪府貝塚市の油谷雅次会員がそれぞれパネラーとして登場しました。コーディネータは宮崎会長がそのまま務めました。11月に行われた松山市PTA研究大会には、岸裕司副会長が分科会を受け持つなど、松山市の会員の労もあって、四国松山は融合研の活動がPTA活動推進のキーを握っているといえそうです。

当日の詳細は省きますが、学校側・行政側・地域側のそれぞれからのアプローチで学社融合を推進している全国でも屈指の実践であるだけに、松山に大きな風を起こすことと思います。松山の関係者によれば、3年後をメドに融合フォーラムが開催できることを目標に、今後の活動を推進していきたいとのこと。

(この後、さっそくミニフォーラムが開催されます。参加自由だそうです。仙波英徳会員のメールより)

松山市のPTA 連合会です。

13年11月6日の岸 裕司さんの松山市PTA 研究大会における「学校を基地にイキイキ子育てまちなづくり学社融合の教育創造」の講演による秋津菌の感染から、14年2月23日 宮崎 稔会長 他3名による「学社融合フォーラム」を受け、14年度 一回目のYUOGO ネット勉強会を開く事が決定しました。

場所 松山市青少年センター大ホール

松山市築山町12-33 ☎.943-3346

日時 平成14年5月25日(土) 10:00~12:00

講演内容 「学校と地域で築く教育力」 ~学公融合(学校と公民館の融合)~

~「総合的な学習」選択教科の学習を通して~

講師: 富士宮市教育委員会生涯学習課課長補佐 渡邊喜久氏

今回は 松山市の考える学校・公民館の融合を目指す 学公融合に焦点を当てて勉強したいと思っています。33の公民館代表の方も同時参加する予定です。参加自由ですので ひやかしにお立ち寄りください。

岩手県の紫波町でも、ミニフォーラム開催が開催されます。

子どもの笑顔を未来へ手わたそう! 「春季融合フォーラム2002 in 紫波」へのお誘い

学校と地域の融合教育研究会会長:宮崎 稔 2002(平成14)年5月

本年度は、新学習指導要領の改訂に伴う「総合的な学習の時間」の完全実施や、年間の休校日が165日にも及ぶ完全学校週5日制の導入等を背景に、いよいよ教育創造も学校・家庭・地域コミュニティ・行政等がそれぞれの主体性を発揮しながら融合して推進しなければならない本格的な年になりました。そこで、学校と地域の融合教育研究会は創立5周年を迎えた本年、ご当地の会員が東北支部を発会することを記念して表題のフォーラムを行います。幸い学社融合を積極的に推進する岩手県紫波町教育委員会

との共催で、紫波町を会場にして開催させていただくことになりました。つきましては「子どもの笑顔を未来へ手わたそう！」を合言葉に、ぜひみなさまにご参加をいただきたくご案内をさせていただきます。

学校週5日制を 融合で楽しくすごそう！

平成14年 6月1日(土) 10時30分～16時30分

会場:紫波町中央公民館

主催:学校と地域の融合教育研究会 / 岩手県紫波町教育委員会 (参加費 1,000円)

内 容

基調講演「学校週5日制を融合で楽しくすごそう」学校と地域の融合教育研究会長 宮崎 稔 氏
事例研究

- A 月～金は、お年よりと学社融合のチャンス！ 地域の伝統が育てる学校種加(彦部小学校・田植え踊り)
- B 本は子どもと大人をつなぐ楽しい融合の場(コーディネート 岸 裕司 氏)
札幌学校図書館開放協議会 久川 要 氏
東和町 ちえの輪サークルとベンチャープロジェクト
紫波町図書館を考える会
- C はじめてのテレビ会議の実践 光ファイバーを使った授業の研究
住民パワーが生きた教育を生み出す(宮城県玉沢小)

パネルディスカッション「学校開放による生涯学習のコミュニティづくり」

パネラー 紫波町教育長 川村 秀彦VS仙台シニアネット 庄子 平弥氏VS新潟県大養小学校長 渡辺 正親氏
VS長野県上松町教育次長 田上 洋介氏

*コーディネーター 野沢 令照 氏

いい本選ぶ会(町民が選ぶ図書館に置きたい1冊の本)

学校図書室土曜開放(紫波一中・古館小学校・赤石小学校)

ラ・フランス温泉館「湯楽々(ゆらら)」にて交流会4,000円

どなたでも参加できます。詳しいお問い合わせは、紫波町教育委員会事務局 社会教育課

電話019-672-3362/Fax019-672-1553 内線34 藤尾まで mail/tomoko@town.shiwa.iwate.jp

参加申し込み紙

氏名	住所(連絡先)		
		tel	fax
	E-mail		
当日お弁当を	希望する	希望しない	(で困ってください)
懇親会に	参加する	参加しない	(で困ってください)
宿泊を	希望する	希望しない	(で困ってください)

(宿泊先:紫波町あづまね温泉「ききょう荘」019-673-7670 1泊1食3,500円)

千葉県ボランティア国際年フォーラム (融合研・LIT・市川市ナーチャリングコミュニティ・ピオトープ)

10月6日(土)に、千葉県教育センターで、上記のフォーラムが開催されました。一つの分科会のほとんどを融合研が受け持ちました。全体提案とコーディネータを宮崎会長が受け持ち「融合研の活動」をメインに発表した後、常田会員からは、市川市ナーチャリングコミュニティの活動と課題をとりあげました。また、君津市のコンピュータ講習(IT講習会)を一手に引き受けているNPO法人LITの活動を斎藤正一会員が、学校へのコンピュータ支援と併せて発表しました。さらに、市原市で学校ピオトープを支援している市原市の平山昭彦会員が、その推進上の留意点等を含めて発表しました。会員が多い地域では、このように一つの分科会を融合研で受け持つことが多くなって来るかもしれません。

新聞・雑誌の掲載記事 (記事のコピーは、末尾をごらんください)

- 1 岸裕司;月刊「悠」2001年12月号「融合の発想で外部スタッフの導入を」
- 2 融合研・秋津小・宮崎稔;「新潟日報」2001年12月15日号社説「学校を開く」
- 3 新潟十日町小・豊栄小ほか;「新潟日報」2001年12月25日号社説「夢のある学校」
- 4 越田幸洋;「社会教育」2001年12月号「地域の支援で感性を育む学校教育のありかた」
- 5 秋津小;「十勝毎日新聞」2001年11月24日号「学校・地域の融合」
- 6 岩手県東和町;「岩手日日」2001年11月27日号「学校と社会両教育融合の地域づくり」
- 7 庄子平弥;「産経新聞」2002年1月13日「新定年事情」
- 8 融合研・宮崎稔;「地域新聞 習志野版」2002年1月18日「学校と地域の融合教育研究会」
- 9 宮崎稔;季刊「教育と文化」2002年冬号「学校からの発信で支え合う街」

これからも、事務局へ情報をお寄せください。

広く掲載されたものや事務局へ届いたものは、会報への転載を了承されたものとさせていただきます。転載されたくない場合は、その旨ご連絡ください。

プログラムバンク

融合研では、学社融合を進めるための手法を共有するという観点から、「人材バンク」ではなくて、「プログラムバンク」作りを進めています(責任者として委員長に越田幸洋さん(鹿沼市石川小))。今後ホームページにも掲載しながら、それぞれの活動の一覧を作成する予定です。会員の皆さんがお持ちの実践を、どうぞ事務局へ投稿してください。

まだまだ情報満載 「学校開放の動き 2例」

1 新潟県新井市のすごい試み (原省司会員のメールより)

上越フォーラムにユニークな事例報告もしてもらいましたし、シンポジウムに教育長始め教育委員会のメンバーが大挙して参加してくれていた、あの新井市(上越市の南隣り、人口約3~4万人?)が、365日、学校

を開放することになったようです！！ これって凄いとですよ！！

(上越タイムス記事より)

* 養護学校を含む市内の全ての小中学校で、朝9時から夜10時まで、年間を通じて開放

* 学校の管理に地域もかかわり、地域と共にある学校を目指す。

* カギの管理を地域で組織する利用者運営組織にゆだねる。

* 特別教室も開放。(いままでは夜間や休日の体育館、グラウンドだけだった。)

(ピアノ、オルガン、調理器具など備品類も授業で使用中外はいつでも使用できる。)

(パソコン類は指導者が付くことが必要。)

教育委員会のコメント

学校を新たな活動の場として生涯学習の輪を広げながら、次代の子どもたちをみんなで育てていくことが大切。地域住民が学校へ入ることで理解が深まり、教育への協力者も増える。大人の活動を子どもたちが見たり、いっしょに参加し、交流することが大切です。

2. 大阪府の高校での試み(小坂雄二会員のメールより)

大阪府教育委員会は、4月25日に高校の余裕教室を、6月からNPO法人や市民活動団体に貸し出すと発表。高校の余裕教室の貸し出しは全国でも初。

大阪府教育委員会は、今年度府下の高校の26校33教室を、NPO法人や市民活動団体の活動の場所に貸し出すモデル事業を始めた。このうち12校は、国際交流や子育て、伝統文化などに限定。使用方法は、基本的に月～金の学校が開いている9時～17時の間。

希望団体は、5月15日から大阪府教育委員会地域教育振興課に申込みもの。

大阪府教育委員会地域教育振興課は、「NPO法人や市民グループのネットワークを学校教育に役立てたい」とし、使用料は光熱費等の実費負担で今年度は無料としている。

文部科学省によると、昨年度の全国の小中学校の余裕教室は6215。しかし、大半は学内利用の特別教室や子ども達の交流スペースに充当、地域に開放されたのは、社会教育や高齢者施設で245(4%)教室である。

「小さな一歩が、テレビ出演」

このところ、フォーラムのたびに事例報告をしている静岡県引佐町の融合事例が、NHKで以下のように放映されました。富士宮フォーラムに参加された方は、懇親会である「学校の家庭科室でオリジナルの焼き肉のタレを作って売った」方々を覚えていることと思います。あの方々の活動です。歴史としがらみのある「古い」地域で、普通のPTA会員が学校を舞台にして活動している事例紹介です。学社融合の「はじめの一歩」を手探りでやっている実に純粋な活動です。代表の高井千幸さんからのメールが以下です。

(高井さんのメールより)

NHKの取材は、連休前に終わりました。題材もないような活動ですが...、「はじめの一歩を撮りたいから充分です...」の言葉に受けてしまいましたが！？2日間の取材で、きっと編集が大変だろうなあって思っています。

5月16日(木曜日)23時から...「教育フォーカス」にて放映されます。(注 NHK教育テレビです。前身の番組は「教育トゥデイ」です)良かったらみて下さい。

少しずつ地域が...県が...変わってきているのを感じます。今月も、2つ研修会に参加します。一緒に手探り状態から、手を取り合い、頑張っていきます

連絡いろいろ

ホームページに、各地のミニフォーラムの案内が載っています

会員の活動の活性化に伴って、今年度からは本部とその地域で共催する形のミニフォーラムを、各地の主体性に任せて開催するという形をとりました。ホームページに各地での開催内容等が掲載されていますので、ご都合をつけて積極的に参加されることをお勧めします。

および本やビデオによる活動の紹介

「新潟県の教育改革」が、ビデオになりました

これまで、教育改革に積極的に取り組んでいる新潟県の事例が、一連のビデオになりました(富士の宮フォーラムでも紹介がありました)。

- ビデオそのものは、無料です。
- しかし、教師やPTA等の研修用として、市民の視点からの教育改革を志す人たちが、「自費で」制作したもので、約450万円の費用がかかりました。そこで、『一口10,000円』を活動のカンパとしています。□融合研としても、会として1本を購入し、フォーラムや地域の勉強会での上映に貸し出すことにしました。(個人用には貸し出せません)。
- ダビングして、個人的に友だちに分けてあげるといことも著作権上、できないと思います。
個人的に欲しいという方は、10,000円のカンパつきですが、欲しい方は注文をお願いします。また、学校やPTAとして購入したいというところが増えてくれるといいと思います(参考になります)。

タイトル「夢のある学校づくり」

企画・制作；子どもの夢が育つ学校づくりプロジェクト

内容；「太田の森と子供たち」集まって <いのち>の<つながり>を活かす「学校の森」づくり

やすづか自由学園；子供たちの心の居場所 十日町小学校・夢の学校づくり

back to school自然塾・明星学園 聖籠中学校：地域がつくる学校

会費は郵便局へ振り込んでください

会費等は**郵便局へ**振り込んでいただきたいと思います。よろしくお願いします。

(記号)10500 (番号)42592921 宮崎稔 (住所)285-0843佐倉市中志津7-17-4融合研

事務局が移転しましたが、振込先はそのままです。

2002年度からの会費は、3000円です。前年度分が未納の方いっしょにお願いします。